

# 事業箇所総合評価シート

【担当課：下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業	路線名等	宇陀川処理区
箇所名	宇陀市榛原福地		

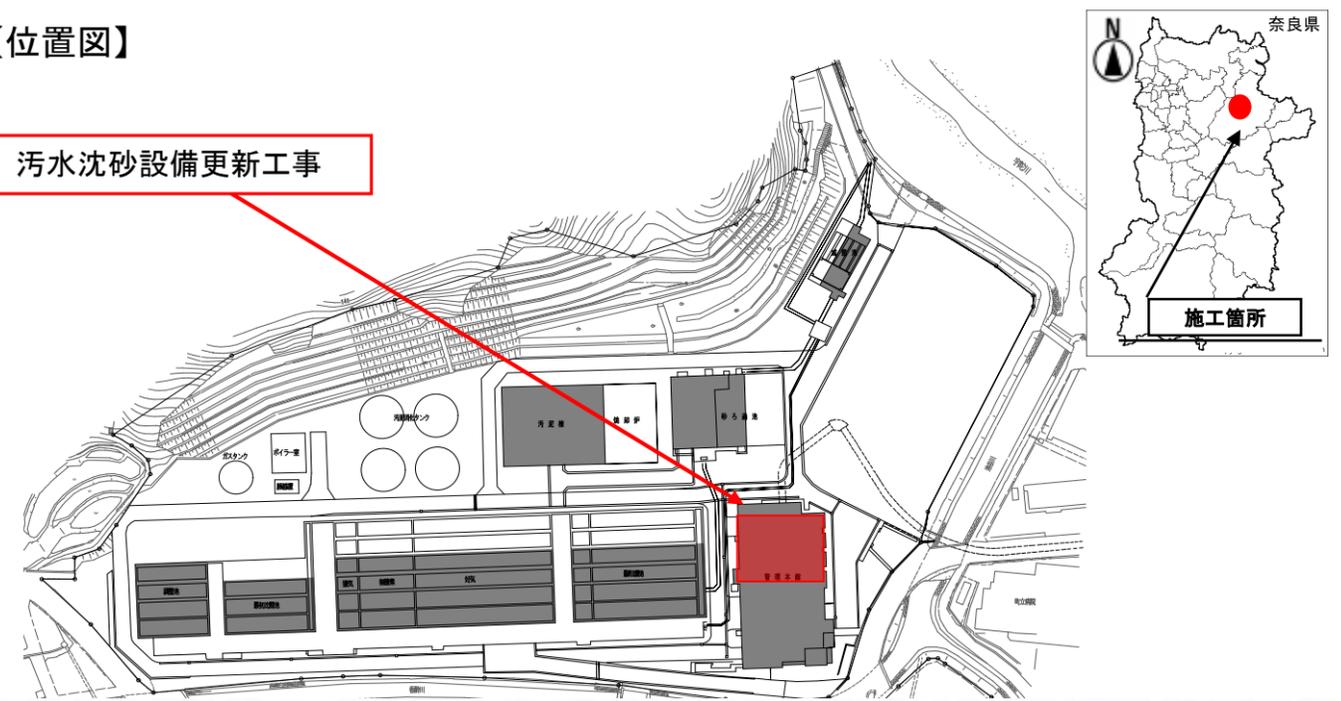
事業の概要	目的	処理場の汚水沈砂設備が老朽化しているため、更新を行い、機能回復を図り、適正な放流水質を確保する。			
	事業内容	汚水沈砂設備更新(機械・電気)更新			
	着手年度年	平成24年度	完成予定年度	平成26年度	全体事業費

評価	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設は、流入した汚水の大きなゴミや砂を除去し、スクリーンへ送る処理場の施設である。</li> <li>調査点検を実施したところ、健全度が低く、施設が老朽化しているため、機器の更新を行い、機能回復を図り、適正な放流水質を確保する必要がある。</li> <li>昭和61年度設置</li> </ul>
	上位計画等	「奈良県流域下水道長寿命化計画」
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の技術革新により機器の省エネ化・長寿命化が進んでおり、運転経費及び維持管理費用の節減が図れる。</li> <li>本設備が停止した場合、放流水質が悪化し、宇陀川や室生ダムの水質に悪影響を及ぼす。更新することでそのような事態を未然に防止できる。</li> </ul>
	コスト縮減への取組み	・省エネ化・長寿命化等による維持管理コスト縮減を図る。
	地元情勢等	
他計画・他事業との関連		

評価結果	左の理由
採択	施設の老朽化により機器更新の必要性が認められるため採択とする。

## 【位置図】

汚水沈砂設備更新工事



水処理施設フロー・現況写真

機器劣化状況

しき脱水機

自動除塵機

調整池

最初沈殿池

生物反応槽

最終沈殿池

急速ろ過

塩素混和池